



研究部HP



版

第9版 教育研究部 令和2年9月発行

(文責:細井)

～強化子を用いて3～

1 「カレーライス、シチュー、ゆで玉子、サラダ」の行方

「りんごジュース、オレンジジュース、乳酸菌飲料、スポーツドリンク」「お店、カナリヤ、いぬ、ねこ、絵を描く、レジ」「シュークリーム、まんじゅう、どらやき、香川のお菓子」。これらはA君の毎朝のお約束から強化子カードに書いたものです（※商品名や具体的な店名はここでは変更して表記しています）。これらの強化子は、A君が落ち着いて授業に取り組むための強化子になり得たかどうかというと、「ある程度は効果があった」というのが私の考えです。強化子を得るために、1日落ち着いて授業に取り組めた日は何日もありました。特にA君が一時期頻繁に新聞紙に書くようになっていた「回転寿司屋」だけの強化子は、A君にとってはかなり強力な強化子となり、授業中違うことをしだしたり、少し不安定になったりしたときに「回転寿司屋のためがんばります」「回転寿司屋行かないのかな」などの言葉かけで、再び落ち着いて取り組めたことが何回もありました。



A君が着替えを終えた後「かっこいいね」と自分で言って、相手に「かっこいいね」と言うよう要求する行為のときも、これらの強化子を使用しました。A君「かっこいいね」、私「回転寿司屋のためがんばります」、A君「かっこいいね」、私「回転寿司屋のためがんばります」...というやりとりを、A君が次の行動に移るまで続けました。このようなやりとりを何回も繰り返す内に、「かっこいいね」という回数が減り、やがて言うことなく次の行動へ移ることができるようになりました。「かっこいいね」という強化子より「朝のお約束」の強化子の方がA君にとっては強力であったからこそできたことです。



2 「カレーライス、シチュー、ゆで玉子、サラダ」の限界

それでも授業内容によっては、取り組みたくないものもあったようで、そんなときは活動場所からの飛びだし、床に寝転んで手足を激しくばたばたさせる、自分の顔を掻きむしるなどの自傷行為などの行動をとることで、活動を回避する様子が何回も見られていました。このようなときは、強化子カードを見せてもう一度取り組みに戻らせようとしたり、違う授業内容を提示して取り組ませようとしたりしました。それでうまくいくときもあれば、うまくいかないときもありました。

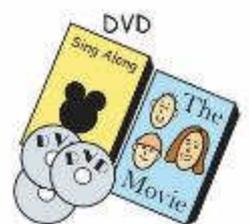
強化子として一定の効果を得られた「朝のお約束」。効果が得られるからこそしばらくは使ってみたものの、次第にあることが気になり出しました。「強化子を提示するのは私だが、強化子を与えるのは保護者である」ことです。1日落ち着いて授業に取り組めた日はよいのですが、問題は取り組めなかった日です。もともとは、朝、保護者と約束したもののなので、取り組めたか否かに関係なく、帰宅すれば約束は果たされる状況にありました。また、A君が家庭で不安定になった時、保護者が対応することは非常に難しいことを知っていたので、強化子を用いた取り組みについて説明し、授業に取り組めなかった場合は強化子を与えないでくださいとお願いすることはできないと考えていました。

トークンを用いたやりとりは、一種の契約です。「授業に取り組む」という条件が履行されたときに「強化子」が得られるという契約なのに、履行不履行に関係なく「強化子」が得られる状況はよくないのでは、と考えるようになりました。

3 「カレーライス、シチュー、ゆで玉子、サラダ」を超えるもの？

ある時期から朝のお約束の場面で、私には全く何のことだかわからない言葉が、しばらくの間使われるようになりました。何のことか保護者に尋ねると「昔持っていた幼児向け雑誌の付録DVDのことで、家には既になく、かといって昔の付録なので入手できないものを要求している」とのことでした。「付録DVD」（※実際には付録DVDのタイトル名）、もカードに書いて、強化子として使いましたが、朝のお約束でこのDVDのことが連日でてくことや、学校にいる間にもA君が頻繁に口にすることから、A君のDVDに対する気持ちは相当強いものだということがわかりました。家でも頻繁に口にするので保護者は困っていましたが、既に販売されていないものなのでどうすることもできず、A君には注文はしたので、いつか郵便屋さんが持ってくるよと伝え、A君が言わなくなるのを待つという対応をとっていました。ちなみに、雑誌自体は現在も発行されていて、同名の付録DVDも付いているのですが、全く見ようとしないとのことでした。

強化子としてこれ以上のものはないと考えた私は、何とか手に入れられないものかと、ネットでいろいろと調べてみました。ようやく探し当て、たどり着いた付録DVDのパッケージ画像を見て、私はびっくりしました。A君が入学以来学校に持ってくる自分で描いた絵、その中のキャラクターのほとんどがパッケージに載っていました。A君が大好きなアライグマのキャラクターと私が思っていたアライグマのキャラクターが違っていたこともこの時知り、私が用意したアライグマのキャラクターには一切興味を示さなかった理由がわかりました。



このことでまた、A君の付録DVDに対する強い気持ちを知ることができました。そして、中古として手に入れられる付録DVDの中から、A君が描いたキャラクターがパッケージに載っているものを数本購入し、強化子として使用することにしました。

A君と強化子の話は次回で一区切り、もう少しお付き合いください。【10月発行第10版に続く】

引用・参考：PECS トレーニングマニュアル第2版

カット：Pics for PECS 第15版（掲載許諾済み）